

RBS

RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

立命館大学ビジネススクール
[大学院経営管理研究科]



ビジネスを創る、
キャリアを描く

RBS
RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

立命館大学ビジネススクール（大学院経営管理研究科）

[お問い合わせ]

立命館大学 OIC 独立研究科事務室（経営管理研究科事務局）

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

TEL: 072-665-2101 FAX: 072-665-2109 E-mail: rbs-ras@st.ritsumeai.ac.jp



Guide 2025



地球上の人口が80億人を超えた今、さまざまな分野で持続可能な発展という世界共通のテーマに取り組む人材が求められています。こうした中で、広い視野と深い専門知識をもった人材を輩出する高等教育への期待はますます高まっています。同時に、高等教育での学びは、人々のキャリアを豊かにし、生活水準の向上をもたらす原動力ともなります。

高等教育での学びは、高校を卒業してからの4年間に限定されるものではありません。日本でも近年、学びたいという意欲をもつビジネスパーソンの中で、MBAという選択肢の存在が浸透してきました。マネジメントに携わるビジネスリーダーの羅針盤として、世界に通じる共通言語として、MBAの実践知はとても役に立つからです。MBA教育では、ビジネスを体系的に学び、能力を高めることを通じて、自らのキャリアを客観的に見つめ直すことができます。また、異なる業種や階層との交流を通じて、明日を拓く発想や気づきが得られます。

ビジネスを創造する未来設計図を描き、自らの実践知を磨くためのラーニングコミュニティ、それが立命館大学ビジネススクール(RBS)なのです。RBSは、実務界の英知と学術を基盤とした論理によって、ビジネスの創造を目指すみなさんを応援しています。時機を逃さずRBSの扉を開いてください。

すでに多くの修了生が、それぞれのフィールドでビジネスの創造に挑戦し、期待を超える成果をあげています。RBSは、貴方との実りある出会いを期待しています。

立命館大学ビジネススクール
(大学院経営管理研究科) 研究科長

牧田 正裕



VUCA (Volatility ; 変動性、Uncertainty ; 不確実性、Complexity ; 複雑性、Ambiguity ; 曖昧性) と呼ばれるようになった事業環境において、ビジネスリーダーが戦略的意思決定を行い、経営戦略を実行することは、容易なことではありません。しかし、逆説的ではありますが、そのような事業環境であるからこそ、ビジネスチャンスがたくさん存在しているというのも、また事実です。経営管理専攻では、この潜在的ビジネスチャンスを掴み取り、日本のみならず、世界で活躍することのできるビジネスリーダーの育成を目的としたカリキュラムを用意しています。また、経営学の基礎から実践的な科目まで、学術のプロフェッショナルの教員(アカデミア)と経験豊富な実務のプロフェッショナルの教員(プラクティショナー)が、それぞれの工夫を凝らしたティーチング手法で授業を運営しています。

みなさん、「ビジネスを創造するリーダー」を目指して、その一歩を踏み出してみませんか？

経営管理専攻 専攻長・副研究科長

水野 由香里



観光が日本経済の根幹を担うことが期待されると同時に、世界的に見ても観光が今世紀最大の産業となることが確実視されています。特に日本では、インバウンド客の急増とともに「オーバーツーリズム問題」がクローズアップされるようになってきています。このような課題に取り組み、解決の方向を探ることが観光を持続的に発展させるカギであり、そのために「観光経営」の知識を持った人材の育成が求められています。観光マネジメント専攻においてはこの目的に沿って、従来から積み上げてきたRBSの実績をもとに、より観光経営に特化した学びを実現してゆきます。今、実社会から大きな期待を寄せられている「観光経営力」を観光MBAで身につけると共に、そこでともに学んだ仲間とのネットワークを卒業後も発展させ、日本の観光の未来を築いてゆきたいと考えるみなさんの参加をお待ちしております。一緒に明日の観光の未来を作り上げましょう。

観光マネジメント専攻 専攻長

石崎 祥之



ビジネスを創造するリーダーを育成 するカリキュラム

RBSのカリキュラムは、MBA教育を通じてビジネスを創造する力を養成することを目指しています。
経営管理専攻に加え、観光ビジネスの経営に特化した観光マネジメント専攻が設けられました。
いずれの専攻においても、ビジネスパーソンを対象としたプログラムと、
学部卒業生（留学生含む）を対象としたプログラムがあり、それぞれ段階的な学修が可能です。



RITSUMEIKAN UNIVERSITY BUSINESS SCHOOL

創造のRBS

Feature 01

創造を重視する科目

MBA教育のグローバルスタンダードを踏襲しつつ、コア科目の必修科目に「ビジネス創造」（経営管理専攻）「サービスイノベーション」（観光マネジメント専攻）を配置するなど、創造を重視した科目を用意しています。これにより、ビジネスを創造するための方法を実践的に学び、変化し続ける世界をリードするための力が身につきます。

Feature 03

キャリアを創る課題研究／リサーチプロジェクト

課題研究／リサーチプロジェクトでは、自分自身のキャリアビジョンを踏まえて課題を設定し、知的探究を行います。指導教員による個人指導とゼミメンバー同士のディスカッションにより、学問の枠を超えた実践的ソリューションや事業計画を創出します。これにより、問題解決能力とともに、自分らしいキャリアパスを開拓する力が身につきます。

Feature 02

実践と理論をつなぐ教員

経験豊富な実務家教員からは実務的な知見やリーダーとして求められるマインドセットを、研究者教員からはビジネス現象をとらえる視点を学ぶことができます。比較的少人数クラスで、実業界との連携を含むケーススタディやグループプロジェクト、フィールドワークを通して、理論と実践の間を行き来します。これにより、創造的で柔軟な思考力が身につきます。

Feature 04

可能性を広げるネットワーク

正課外の活動を実践的に行う場として、RBSビジネス創造リネージュがあります。起業や事業展開を含むビジネス創造に対する支援を受けられると同時に、産業界や修了生から成るネットワークにアクセスすることができます。これにより、新しい人やアイデアとの出会いが生まれ、キャリアや個人的成長について未知の可能性へと道が開かれます。

経営管理専攻

Major in Management

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるために。「新しい何か」を創る創造性を磨きます。

マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講

キャリア形成プログラム

- 学部卒業生（留学生含む）対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけます。

観光事業マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講（オンライン受講可）

観光事業キャリア形成プログラム

- 学部卒業生（留学生含む）対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

〔標準修業年限〕 2年（在学年限最長4年）

〔キャンパス別開講時間〕

		1・2 限	3・4 限	5・6 限	6・7 限
大阪梅田キャンパス	平日	—	—	—	18:30～21:55
	土	9:10～12:35	13:35～17:00	18:00～21:25	—
	日	9:10～12:35	13:35～17:00	—	—
大阪いばらきキャンパス	平日	9:00～12:30	13:20～16:50	—	—

大阪梅田キャンパス 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階（JR「大阪駅」から徒歩約5分）
大阪いばらきキャンパス 茨木市岩倉町2-150（JR「茨木駅」から徒歩約5分）

アクセス案内
（大阪梅田キャンパス／
大阪いばらきキャンパス）



〔クォーター制〕 約2ヶ月7回の講義で1科目を履修します（200分×7回＝2単位）

1 年 次						2 年 次													
4月5月		6月7月		8月9月 〔集中講義〕		10月11月		12月1月		4月5月		6月7月		8月9月 〔集中講義〕		10月11月		12月1月	
コア科目〔A群・B群〕 中心の履修				実習科目		選択科目中心の履修				選択科目中心の履修									
										演習科目（ゼミ）									

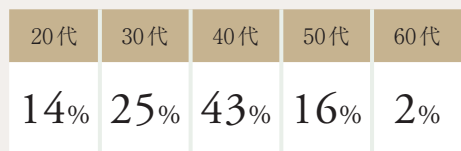
マネジメントプログラム

Management Development Track

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。大学卒業後、勤続3年以上の方を対象としています。経営者や経営幹部を志向する方だけでなく、自分らしいキャリアを構築したい方や、起業を検討している方、あるいは第二創業、事業継承を検討している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。また、仕事の関係等でキャンパスでの授業に直接参加できない場合には、全授業回数の半数を超えない範囲でテレビ会議システム等を利用したオンライン受講も可能です。

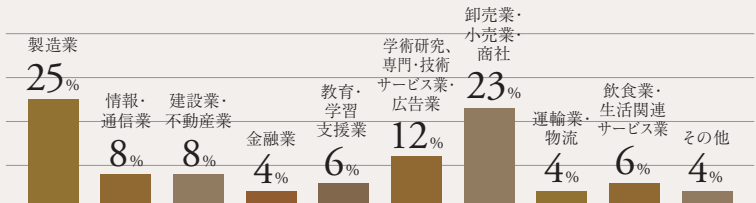


[在学生の年齢]



※小数点以下第1位を四捨五入しています。

[在学生の所属業界の割合]



在学生の声

ベビー&キッズブランドのマネージャーとして、事業拡大を目指しています。マーケティングを専門としてきましたが、女性の人材育成やブランドイノベーションなど、経営についてより体系的な学びが必要と感じ、RBSに入学しました。RBSでは院生や先生とのコミュニケーションが盛んで、多様性を尊重しながら、実践的な経営を学んでいます。次世代の子供たちへ繋がるような、社会に貢献できる創造的なビジネスモデルを構築したいと考えています。



金口 裕美 さん
株式会社Noz HOPPL 事業部
PRマーケティング部 部長

修了生の声

長いキャリアの中で一度立ち止まり新しい知識を身につけようとRBSに入学しました。RBSでは、さまざまな分野で活躍する刺激的な仲間と、専門性高く親身にアドバイスしてくれる先生方に恵まれ、有意義な2年間を過ごしました。学んだ内容は仕事を進めるうえでヒントになっています。アパレル経営という副業にもチャレンジすることができました。RBSは忙しい方でも通いやすい環境、成長するための環境が整っています。ぜひ一步を踏み出してください！



角 景子 さん
パナソニックコネクト株式会社・
アンレーベル

キャリア形成プログラム

Career Development Track

将来、ビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる力量を向上させるプログラムです。主に大学卒業後、勤続3年未満の方を対象としています。経営を一から学ぶだけでなく、グループワークやプレゼンテーションを通じて、実践的な課題発見力や解決力、コミュニケーション力を磨きます。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日の昼間に開講。日本人学生と留学生がお互い異文化理解を深めながら切磋琢磨しています。また、ゼミやRBSビジネス創造リンケージの活動では、マネジメントプログラムの院生とも交流する機会があります。



[過去3年間の本プログラム修了生の主な就職先企業名]

- | | | |
|--------------------------|------------------|---------------------|
| ● IQVIA ソリューションズジャパン (同) | ● (株)セガ | ● (株)博報堂 |
| ● (株)IHI | ● (株)大和総研 | ● パナソニックインダストリー (株) |
| ● アクセンチュア (株) | ● TDK (株) | ● (株)船井総合研究所 |
| ● アビームコンサルティング (株) | ● 南海電気鉄道 (株) | ● (株)ポーラ |
| ● (株)NTT データ | ● 日本アイ・ビー・エム (株) | ● (株)三井住友銀行 |
| ● キンドリルジャパン (株) | ● (株)野村総合研究所 | ● (株)三菱UFJ 銀行 |

(50音順)

在学生の声

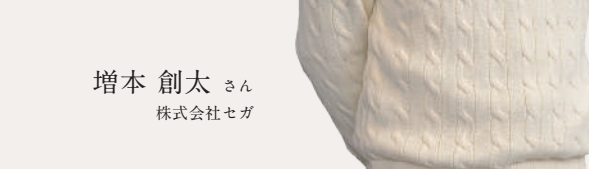
学部時代は、マーケティングを中心に経営学を学びました。当時関心を持った「顧客インサイト」について学びを深めたくRBSに入学しました。サービスイノベーションがテーマの授業では、グループでのディスカッションと現場調査をもとに企業への提案を導きました。このように、理論だけではなく実践的な学びが加わるのがRBSの醍醐味です。将来は、食品・飲料メーカーで顧客に「Wow」を届けるような商品企画に従事したいです。



森川 雄太 さん
立命館大学 経営学部出身

修了生の声

学部では経済学を専攻しましたが、ビジネスの世界で活躍するためにはMBAの取得が近道になると考えました。多様な教員が在籍していて、実務と理論の双方から視座を高められそうだと考えRBSに入学しました。学部の授業と違い、ディスカッションやプレゼンテーションを通して理論を実践に結びつける機会が多く、自分なりのビジネス観が醸成されました。将来は、ビジネス全体を俯瞰し、今までにないビジネスを創造できる人材になりたいと思います。



増本 創太 さん
株式会社セガ

[マネジメントプログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	戦略ユニット	経営管理 特殊講義 マネジメント 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 戦略的意思決定 国際経営戦略			
		グローバルビジネスの実践 技術・オペレーションの マネジメント ICTビジネス戦略			
		組織ユニット			
		人的資源管理 キャリア開発 異文化マネジメント			
		コーチング コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		マーケティングユニット			
		マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング ブランドマネジメント			
		会計ファイナンスユニット			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	財務会計 管理会計 企業分析 コーポレートファイナンス			
		M&A戦略 ストラクチャードファイナンス 投資戦略 ベンチャーファイナンス			
		ビジネス共通ユニット			
		国際政治経済 ビジネス法務 論理的思考と プレゼンテーション			
		Business Communication Business Negotiation			
		統計・データ分析			
		マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング ブランドマネジメント			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析 コーポレートファイナンス			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネス共通ユニット			
		国際政治経済 ビジネス法務 論理的思考と プレゼンテーション			
		Business Communication Business Negotiation			
		統計・データ分析			
		マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング ブランドマネジメント			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析 コーポレートファイナンス			
		M&A戦略 ストラクチャードファイナンス 投資戦略 ベンチャーファイナンス			
		ビジネス共通ユニット			

[キャリア形成プログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			
		統計・データ分析			

ブランドの効果的かつ効率的な育成(ブランディング)と管理(ブランドマネジメント)について学びます。具体的には、企業側が企図した戦略的なブランドエクイティを顧客の知覚の中に醸成することを目的とし、ブランド戦略立案、ブランドコンセプト開発、ブランドコミュニケーション、ブランドマネジメントの手法などを学んだ後、実際の企業から提供される課題テーマにグループで取り組み、学びを実践に移します。学びと実践を楽しみましょう。



須方 研詞 教授



課題研究では自らの問題意識を深く掘り下げ、最終的に独自性のある提案や主張を行います。興味や熱意を形にする機会であると同時に、社会に新たな価値を生み出す機会でもあります。研究は1年に及ぶ長期的な取り組みで、時には困難を伴い、暗中模索をすることもあります。しかし、指導教員との度重なる面談、他のゼミ生とのディスカッションから、徐々に視界が開けていきます。このプロセスは、人生で二度とない貴重な経験となりえます。挑戦心を持って、自己の実現と価値の創造へ向けた旅路を楽しんでいただければと思います。それが、あなたのキャリアをさらなる高みへと導くことでしょう。



小菅 竜介 教授
副研究科長



過去の課題研究テーマ

- 製造業メーカーにおける技術系管理職の実態と果たすべき役割
- 日本繊維産業の復興への道のり
ー日本繊維産業の再飛翔に向けて直面している課題と対策ー
- 高等教育機関におけるインターナル・ブランディングの構想
ー個人の仕事経験に注目してー
- デジタル終活事業におけるビジネスコンセプトの策定
- 経営に資する内部監査
- ブランド・リレーションシップの形成過程における冷却期の役割
- 日本における中国ブランドの確立とブランディング戦略

※担当科目は2024年4月現在の担当から一部掲載



穴井 宏和 教授

〔専門分野〕アントレプレナーシップ、デジタルイノベーション(デジタルアントレプレナーシップ、デジタルエコシステム)、起業家金融
〔担当科目〕アントレプレナーシップ、ストラクチャードファイナンス



小菅 竜介 教授

〔専門分野〕マーケティング、サービスマネジメント、消費者行動
〔担当科目〕マーケティング、サービスイノベーション、消費者行動、海外フィールドワーク



鳥山 正博 教授

〔専門分野〕マーケティング、マーケティングリサーチ
〔担当科目〕マーケティング、マーケティングリサーチ、デジタルマーケティング



水野 由香里 教授

〔専門分野〕経営戦略、技術経営
〔担当科目〕競争戦略、国際経営、戦略的意思決定、技術・オペレーションのマネジメント



奥村 陽一 教授

〔専門分野〕会計学、企業分析
〔担当科目〕課題研究



須方 研詞 教授

〔専門分野〕マーケティング、ブランディング、新商品開発、新規事業開発、オープンイノベーション
〔担当科目〕商品開発、ブランドマネジメント



永田 稔 教授

〔専門分野〕人的資源管理、異文化マネジメント、キャリア開発
〔担当科目〕リーダーシップ、人的資源管理、異文化マネジメント



村上 啓二 教授

〔専門分野〕ファイナンス、リスクマネジメント、サプライチェーンマネジメント、経営戦略
〔担当科目〕ファイナンス、投資戦略



河瀬 誠 教授

〔専門分野〕事業戦略、技術予測・技術戦略、新規事業戦略、海外戦略
〔担当科目〕ビジネスモデル構築、新規事業開発



高橋 慶治 教授

〔専門分野〕コーチング、キャリア開発
〔担当科目〕キャリア開発、コーチング



橋本 正明 教授

〔専門分野〕ファイナンス
〔担当科目〕ファイナンス、コーポレートファイナンス、投資戦略



山本 真司 教授

〔専門分野〕戦略コンサルティング、戦略経営、経営思想
〔担当科目〕戦略コンサルティング、戦略経営、経営思想



肥塚 浩 教授

〔専門分野〕経営戦略、介護経営
〔担当科目〕競争戦略、ビジネス創造



谷口 学 教授

〔専門分野〕財務会計、管理会計
〔担当科目〕財務会計、管理会計



前田 東岐 准教授

〔専門分野〕組織論、経営管理論
〔担当科目〕組織行動、リーダーシップ、キャリア開発

※ 現職・担当科目等は2024年現在

客員教員

青木 淳

〔現職〕(株)淳風満帆代表取締役、(株)LIXIL 社外取締役、フィデアホールディングス(株)社外取締役、マッキンゼー・アンド・カンパニー・シニアアドバイザー
〔担当科目〕グローバルビジネスの実践

岡本 薫明

〔現職〕日本たばこ産業(株)取締役副会長

木越 純

〔現職〕バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ東京支店長
〔担当科目〕内外金融機関のビジネス戦略

桑津 浩太郎

〔現職〕(株)野村総合研究所 研究理事
〔担当科目〕ICTビジネス戦略

櫻田 謙悟

〔現職〕SOMPOホールディングス(株) グループCEO
取締役 代表執行役会長

嶋内 秀之

〔現職〕(株)アントレプレナーファクトリー代表取締役
〔担当科目〕ビジネス創造

非常勤講師

浅田 拓史

〔現職〕大阪経済大学 情報社会学部教授
〔担当科目〕アカウンティング

池田 吉成

〔現職〕(医)和風会法人統括本部長、前(株)企業再生支援機構シニアディレクター
〔担当科目〕論理的思考とプレゼンテーション、医療経営

石井 真一

〔現職〕大阪公立大学大学院経営学研究科教授・大阪公立大学商学部教授
〔担当科目〕国際経営戦略、国際経営

稲垣 誠二

〔現職〕(株)SIAF代表取締役、(公社)滋賀レイクスターズ監事、稲垣誠二公認会計士事務所代表
〔担当科目〕アカウンティング

井上 博

〔現職〕阪南大学 経営学部教授・阪南大学大学院 企業情報研究科教授
〔担当科目〕国際政治経済

太田原 準

〔現職〕同志社大学 商学部・商学研究科教授
〔担当科目〕産業動態分析

小形 健介

〔現職〕大阪公立大学大学院経営学研究科教授
〔担当科目〕アカウンティング

木村 まさみ

〔現職〕武庫川女子大学文学部英語グローバル学科非常勤講師
〔担当科目〕Business Communication

古村 公久

〔現職〕京都産業大学経営学部准教授、公認会計士古村公久事務所代表
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

竹田 宗継

〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部嘱託講師
〔担当科目〕Business Communication

曽根 秀一

〔現職〕(大)静岡文化芸術大学 文化政策学部教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

高橋 秀夫

〔現職〕(株)スリー・エムズ・コンサルティング 代表取締役、ブルーガ・キャピタル(株)マネージングパートナー
〔担当科目〕投資戦略

陳 世宗

〔現職〕(株)宏善代表取締役会長、(株)惠善独立取締役兼報酬委員および審計委員、財団法人犯罪矯正発展基金會理事、財団法人真善美基金會理事、国立台北商業大学非常勤講師、国立台湾科技大学非常勤講師、立命館アジア太平洋大学客員教授、武雄アジア大学構想実現アドバイザー、日華協会台湾代表

中村 葉志生

〔現職〕(株)ハリーアンドカンパニー 代表取締役
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

濱田 初美

〔現職〕東京理科大学 上席特任教授

田中 伸

〔現職〕滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科教授
〔担当科目〕企業分析

辻田 素子

〔現職〕龍谷大学 経済学部教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

徳永 貴超

〔現職〕メルヴィータ・ジャポン(株)
〔担当科目〕デジタルマーケティング

中道 一心

〔現職〕同志社大学 商学部教授
〔担当科目〕日本の産業と企業

西岡 久充

〔現職〕龍谷大学 経営学部教授
〔担当科目〕統計・データ分析

西田 和倫

〔現職〕西田公認会計士事務所代表
〔担当科目〕企業分析

西村 仁

〔現職〕ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント
〔担当科目〕技術・オペレーションのマネジメント

畑中 艶子

〔現職〕国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部准教授 博士(経営学)
〔担当科目〕ビジネス創造

服部 繁一

〔現職〕桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 准教授
〔担当科目〕ビジネスモデル構築

東川 達三

〔現職〕弁理士法人新樹グローバルアイビー、ジェネラル・マネージャー
〔担当科目〕Business Negotiation

益田 勝也

〔現職〕(株)野村総合研究所 プリンシパル、筑波大学 特任教授
〔担当科目〕食農ビジネス開発

増山 美佳

〔現職〕増山&Company 合同会社 代表社員社長、サントリー食品インターナショナル(株)社外取締役、コクヨ(株)社外取締役、鴻池運輸(株)社外取締役、メットライフ生命(株)社外取締役
〔担当科目〕コーポレートガバナンス

南 和気

〔現職〕Wake Consulting(同) 代表・人事戦略アドバイザー
〔担当科目〕異文化マネジメント

山口 冬樹

〔現職〕Abies Ventures(株) 代表取締役マネージング・パートナー
〔担当科目〕ベンチャーファイナンス

林 家彬

〔現職〕中国國務院發展研究センター研究員

藤川 健

〔現職〕兵庫県立大学 国際商経学部准教授
〔担当科目〕競争戦略

牧野 剛士

〔現職〕Makino Analytics Design LLC、代表社員、(株)Eco-Pork リードAIアドバイザー
〔担当科目〕統計・データ分析、論理的思考とプレゼンテーション

増田 紀美子

〔現職〕増田紀美子事務所代表
〔担当科目〕マーケティング

松本 雄一

〔現職〕関西学院大学 商学部教授
〔担当科目〕実践共同体による人材育成

水野 成容

〔現職〕京都リサーチパーク(株)参与 海外・公共連携担当
〔担当科目〕新規事業開発

光山 誠

〔現職〕(医)敬英会理事長、(公社)全国老人保健施設協会人材対策副委員長、MBA、歯科医師(歯学博士)
〔担当科目〕介護経営

三輪 淳之

〔現職〕大阪国際大学 経営経済学部 教授
〔担当科目〕ビジネス法務

矢島 彩子

〔現職〕椋山女学園大学 情報社会学部准教授
〔担当科目〕消費者行動

小林 磨美

〔現職〕立命館大学 経営学部教授 ※兼任教員
〔担当科目〕コーポレートガバナンス

中本 悟

〔現職〕立命館大学経済学部特任教授 ※兼任教員
〔担当科目〕国際政治経済

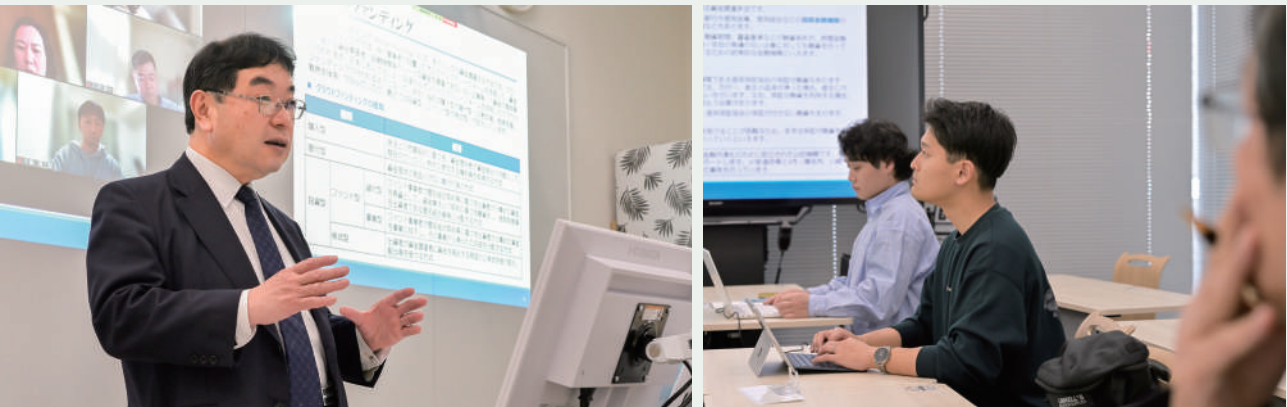
観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光事業マネジメントプログラム

Tourism Management Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体における経営者や幹部候補の方、観光産業で新しいキャリアを築きたい方、あるいは観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。講義科目についてはオンライン同時配信を全面的に実施します。これにより、全国どこからでも授業に参加でき、全国各地の同じ志をもつ人たちとのネットワークも築けます。

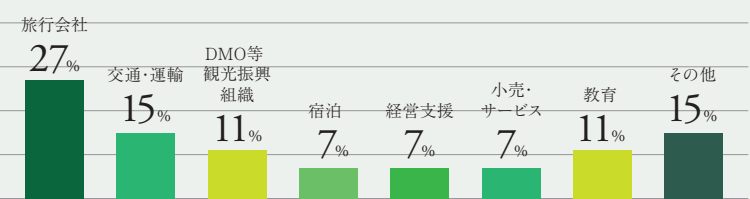


〔在学生の年齢〕

20代	30代	40代	50代	60代
11%	26%	26%	22%	15%

※小数点以下第1位を四捨五入しています。

〔在学生の所属業界の割合〕



観光事業キャリア形成プログラム

Tourism Career Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、将来、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる能力を向上させるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体におけるキャリアを築きたい方のほか、観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日昼間に開講。一部の特殊講義科目は、主に平日夜間や土日に大阪梅田キャンパスで、観光事業マネジメントプログラムの院生と一緒に授業を受けることができ、多くの刺激が得られます。フィールドワークなど、観光事業の現場で課題発見力や解決力を磨くための機会も豊富です。



在学生の声

紹興酒の製造・販売会社でのインターンシップをきっかけに、大学では中国・紹興市の観光動向について調査をしました。将来は紹興酒ツーリズムの推進に携わりたいと考えており、観光経営に関する幅広い知識を習得するためRBSへの進学を決意しました。インバウンドを発展させるための創造的なマーケティング手法や、労働市場の多様化で重要性が増しているリーダーシップを身に付け、観光産業の一翼を担う優秀なビジネスパーソンを目指します。

PAN Zhuojia さん
京都外国語大学 国際貢献学部出身

在学生の声

琉球舞踊の踊り手である私は、伝統芸能で生計を立てる方法を模索してきました。将来、伝統芸能の継承と発展に資する観光事業を立ち上げたいと考えており、夢の実現に向けて新たな可能性を拓くために観光MBAの取得を決意しました。多様な専門性を有する先生方から学び、様々なバックグラウンドを持つ社会人の方々と交流できることがRBSの魅力です。観光経営に関する実践的な知識・スキルを習得し、伝統芸能の持続的な発展に貢献したいと考えています。

安藤 采子 さん
立命館大学 経営学部出身

在学生の声

島根県松江市で地域資源を活用した観光・まちづくり事業として、観光スポットやサービスの企画開発等に携わっています。現場の経験だけでは得られない観光経営に関する知識やスキルを体系的に学びたいと思いRBSへの入学を決意しました。RBSの魅力は、地元で働きながら、オンラインで授業に参加できることです。観光MBAでの学びを通して、時勢に応じた観光の新たな価値を創造し、観光ホスピタリティ産業における新たなキャリアを築きたいと考えています。

植田 菜月 さん
YAKUMOISM

在学生の声

旅行営業を中心に、MICE、プロモーション、地域交流事業など幅広い領域の営業に従事しています。難易度の高い課題も多く、俯瞰的な視点と適切な判断、実行力が必要だと思い観光MBAの取得を志しました。これまでの経験を生かしつつ、VUCA時代の観光ビジネスに必要な新たな着想、理論と実践を体系的かつインタラクティブに学べるのがRBSの魅力です。私自身が最も重視する「実践知」を昇華させ、観光産業の未来を切り拓くリーダーを目指します。

釜田 亮輔 さん
株式会社JTB

[観光事業マネジメントプログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 マネジメント 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク <

[観光事業キャリア形成プログラム開講科目一覧]

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A 群 (必修12単位)	B 群 (6単位以上)	ユニット			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 キャリア形成 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク リサーチ プロジェクト I リサーチ プロジェクト II
		ホスピタリティマネジメント サービスと ホスピタリティのデザイン 観光企業の市場創造	ホテル・リゾート企業の マネジメント 旅館経営		
		観光事業ユニット			
		ディスティネーション マネジメント 観光地ブランディング	リゾート＆ エンターテインメントビジネス MICE マネジメント インバウンドマーケティング		
		観光産業・観光ユニット			
		観光産業イノベーション 観光産業における 情報・デジタル技術 観光産業における リスクマネジメント	交通ビジネス 観光産業政策 観光まちづくり		
		経営管理ユニット			
		人的資源管理 マーケティングリサーチ 企業分析	Business Communication Business Negotiation		

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

旅館経営

本科目は、旅館業界での実務経験がない方でも受講可能です。講座の要点は2つあります。1つ目は、経営不振に陥った旅館をどのように立て直すかという「事業再生の視点」です。もう1つは、新しい旅館を立ち上げる「事業開発の視点」です。これらの視点を持って授業に臨むことで、受講生はより実践的なビジネススキルの養成やマインドの醸成がされます。具体的には、経営戦略、マーケティング、会計・財務などを体系的に学習します。



宮口 直人 教授

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

フィールドワーク

観光が21世紀のリーディング産業として世界的な注目を集めるなか、旅行者、観光産業、地域にとって、「環境」「文化」「経済」の観点で持続可能かつ発展性のある観光の実現に向けた観光ビジネスの創造と変革が重要な課題となっています。いわゆる「サステイナブル・ツーリズム」を実現するための様々なビジネス実践をマーケティングやマネジメントの観点から実践的に学びます。関係者からのレクチャーや現地視察などを通じて、持続可能な観光企業経営・観光地経営に対するものの見方や課題を発見する力を身につけます。これと並行して、受講生は、それぞれの問題意識に基づき調査プロジェクトを実施し、課題発見と解決策の提示または提言等を行います。



大島 知典 准教授

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

リサーチプロジェクト

観光マネジメント専攻のリサーチプロジェクトでは、院生一人ひとりが設定した研究テーマに基づき、調査・研究を行います。少人数の環境で、指導教員や同じリサーチプロジェクトに所属する院生とのディスカッション、文献講読、プレゼンテーション、現地調査などを通して、研究テーマをブラッシュアップしていきます。取り組んでいる研究が、産業界や地域社会、あるいはアカデミアにどのように貢献できるかを常に意識することで、研究を遂行し、結果をレポートにまとめるために必要なスキルや知識、活動が明確になってくるでしょう。また、RBSの観光マネジメント専攻に在籍する他の意欲的な院生と共に研究活動を行う経験は、将来のキャリアに大いに役立つことでしょう。



永井 隼人 准教授

※担当科目は2024年4月現在の担当から一部掲載



石崎 祥之 教授

〔専門分野〕観光マーケティング
〔担当科目〕交通ビジネス、旅館経営、インバウンドマーケティング、フィールドワーク



大島 知典 准教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、ホスピタリティマネジメント、観光マーケティング
〔担当科目〕マーケティング、サービスとホスピタリティのデザイン



永井 隼人 准教授

〔専門分野〕旅行者行動、観光マーケティング、デスティネーション・マネジメント
〔担当科目〕デスティネーションマネジメント、観光地ブランディング、観光産業におけるリスクマネジメント



二階堂 忠春 教授

〔専門分野〕リーダーシップ、組織行動論
〔担当科目〕組織行動、リーダーシップ



西本 恵子 教授

〔専門分野〕国際会議・MICE、デスティネーション・マネジメント
〔担当科目〕MICE企業経営戦略、MICEマーケティング、リゾート&エンターテインメントビジネス、フィールドワーク



牧田 正裕 教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、観光地域づくり、コーポレートガバナンス、会計とコントロール
〔担当科目〕アカウンティング、ホスピタリティマネジメント



三木 健治 教授

〔専門分野〕観光政策、観光まちづくり
〔担当科目〕観光企業の市場創造、デスティネーションマネジメント、観光まちづくり



宮口 直人 教授

〔専門分野〕財務会計、管理会計、観光マーケティング
〔担当科目〕旅館経営、企業財務、管理会計



森本 大 教授

〔専門分野〕事業創生、事業再生、競争戦略、マーケティング戦略
〔担当科目〕競争戦略、ビジネス創造



山田 政弘 教授

〔専門分野〕観光マーケティング、ファミリービジネス、経営戦略、事業再生、DX・IT
〔担当科目〕観光産業イノベーション、観光産業における情報・デジタル技術



山田 雄一 教授

〔専門分野〕観光政策、観光地マネジメント、観光地ブランディング
〔担当科目〕観光地ブランディング、観光産業政策、MICEマネジメント



横山 健一郎 教授

〔専門分野〕ホテル・リゾート企業のマネジメント
〔担当科目〕ホテル・リゾート企業のマネジメント



吉岡 郁栄 教授

〔専門分野〕市場分析、企業分析、経営戦略
〔担当科目〕マーケティング、サービスイノベーション

※ 現職・担当科目等は2024年現在

客員教員

梅原 真
〔現職〕梅原デザイン事務所 代表取締役・デザイナー

金井 良宮
〔現職〕(株)御湯所 ブランドディレクター
〔担当科目〕ラグジュアリーマーケティング

澤田 純
〔現職〕日本電信電話(株) 代表取締役会長

澤田 充
〔現職〕(株)ケイオス 代表取締役CEO

沢柳 知彦
〔現職〕(株)ブレインビックス 代表取締役
〔担当科目〕ホテルインベストメント

他力野 淳
〔現職〕バリューマネジメント(株) 代表取締役

中村 葉志生
〔現職〕(株)ハリアンドカンパニー 代表取締役
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

原 忠之
〔現職〕Associate Professor (Tenured), Rosen College of Hospitality Management & Senior Research Fellow at Dick Pope Tourism Research Institute, University of Central Florida

別所 哲也
〔現職〕俳優、(株)パシフィックボイス代表取締役、(株)ビジュアルボイス代表取締役、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア代表

ポールクリスティ
〔現職〕Walk Japan Ltd. CEO、The Japan Travel Company 取締役会長、Ota Estates (株) 代表取締役

丸田 健太郎
〔現職〕KPMG 有限責任あずさ監査法人 常務執行理事
〔担当科目〕レスポンスブルゲーミング

藻谷 浩介
〔現職〕(株)日本総合研究所 調査部主席研究員
〔担当科目〕サステイナブルツーリズム

本橋 潤子
〔現職〕産業能率大学情報マネジメント学部准教授、慶應義塾大学大学院経営管理研究科講師(非常勤)
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

森 清顕
〔現職〕北法相宗 宗務長 清水寺執事・教学部長 泰産寺住職

森口 巳都留
〔現職〕(株)MICEジャパン 代表取締役、「MICE Japan」発行・編集人
〔担当科目〕MICE施設のマネジメント

非常勤講師

和泉 大樹
〔現職〕阪南大学国際学部国際観光学科教授
〔担当科目〕アートツーリズム

小川原 桜子
〔現職〕メットライフ生命保険(株) マーケティング部門 イベントマネジメントグループ グループ長
〔担当科目〕イベントプランニング

栢木 紀哉
〔現職〕龍谷大学経営学部経営学科 准教授
〔担当科目〕統計・データ分析

木村 まさみ
〔現職〕武庫川女子大学文学部英語グローバル学科 非常勤講師
〔担当科目〕Business Communication

重谷 陽一
〔現職〕阪南大学国際学部国際観光学科准教授
〔担当科目〕観光産業イノベーション

高森 桃太郎
〔現職〕関西学院大学商学部准教授
〔担当科目〕Business Negotiation

竹田 宗継
〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 嘱託講師
〔担当科目〕Business Communication

東野 正剛
〔現職〕(株)パシフィックボイス執行役員
〔担当科目〕映像と観光ビジネス

西田 和倫
〔現職〕西田公認会計士事務所代表
〔担当科目〕アカウンティング

西原 和彦
〔現職〕弁護士法人 本町国際総合法律事務所 代表パートナー
〔担当科目〕Business Negotiation

西村 典芳
〔現職〕流通科学大学人間社会学部観光学科教授 学部長、日本観光経営学会会長
〔担当科目〕ウェルネスと観光ビジネス

波江野 武
〔現職〕デロイト・トーマツコンサルティング(同) 執行役員
〔担当科目〕統計・データ分析

橋本 良子
〔現職〕事業構想大学院大学事業構想研究科教授
〔担当科目〕ビジネス創造

畠山 俊宏
〔現職〕摂南大学経営学部経営学科准教授
〔担当科目〕国際経営

原 一樹
〔現職〕京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授
〔担当科目〕コンテンツと観光ビジネス

丸岡 直樹
〔現職〕バリューマネジメント(株) ゼネラルマネージャー
〔担当科目〕ヘリテージツーリズム

三輪 卓己
〔現職〕桃山学院大学経営学部 教授
〔担当科目〕人的資源管理

善本 哲夫
〔現職〕立命館大学経営学部教授 ※兼任教員
〔担当科目〕ビジネスエコノミクス

人材育成目的と3つのポリシー

本研究科の人材育成目的、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)は、本研究科ホームページに掲載しています。

➡ <https://www.ritsumei.ac.jp/mba/introduce/mission/>

入学試験の概要 (2025年4月入学)

詳細は必ず「入学試験要項」にてご確認ください。

「立命館大学大学院 入試情報サイト」の「入試情報」のページでご確認いただけます。



- 入学定員…経営管理専攻 80名(マネジメントプログラム40名、キャリア形成プログラム40名)
観光マネジメント専攻 70名(観光事業マネジメントプログラム40名、観光事業キャリア形成プログラム30名)

入学試験日程	出願期間	試験日	合格発表日
9月実施入学試験	2024年7月11日(木)～7月25日(木)	9月21日(土)、22日(日)	10月10日(木)
11月実施入学試験	2024年10月10日(木)～10月24日(木)	11月16日(土)、17日(日)	12月5日(木)
2月実施入学試験	2025年1月9日(木)～1月23日(木)	2月15日(土)、16日(日)	2月27日(木)

※試験日は入試方式ごとに異なります。詳細は入試要項で確認してください。

対象	入試方式 ^(※2)	募集プログラム	9月実施	11月実施	2月実施
社会人の方 ^(※1) を 対象とした入学試験方式	社会人入学試験(一般)	マネジメントプログラム 観光事業マネジメントプログラム	○	○	○
	社会人入学試験 (企業等推薦型・自己推薦型)		○	○	○
大学を卒業見込みおよび卒業後に 大学院に進学する方を対象とした入学試験方式	一般入学試験	キャリア形成プログラム 観光事業キャリア形成プログラム	○	○	○
	外国人留学生入学試験		○	○	—
立命館大学およびAPUに在学中の方を 対象とした入学試験方式	学内進学入学試験		○	○	○
	APU特別受入入学試験		○	○	—
	飛び級入学試験		○	○	—

※1 本研究科入学時点で企業・行政等の組織における3年以上の職業経験(NPO活動なども含む)を有している方(詳細は入学試験要項で確認してください)。

※2 選考方法：書類選考、筆記試験(論述試験)、面接試験。ただし、一般入学試験・外国人留学生入学試験以外の入試方式では筆記試験を免除します。

科目等履修生制度 [MBA科目を1科目から受講できます]

※所定の要件を満たし、かつ3年以上の職業経験を有する方が対象です。

ビジネスに関する基礎的素養をもとめる方や、戦略、人事、マーケティング、財務、M&Aなど、特定課題で実践力をもとめる方に、お勧めです。

- 科目等履修生制度とは、科目等履修生として科目を履修し、所定の要件を満たすと単位を修得できる制度です。
- 修得した単位については、20単位を限度として認定することがあります。ただし、入学時に該当科目が廃止されている場合は、単位認定できないことがあります。
- 1科目につき週1回200分×7週間(約2ヶ月)で構成され、平日・夜間(18:30-21:55)、土曜・日曜の開講につき、勤務などの都合に合わせた科目選択が可能です。
- 出願資格や履修科目の詳細は「2024年度 経営管理研究科 科目等履修生出願手続要項」を確認してください。

学費

参考:2024年度学費[標準修業年限]^{※1}

	1年次	2年次	合計
入学金	200,000円 ^{※2}	—	200,000円
授業料	1,310,400円 (春学期 655,200円+秋学期 655,200円)	1,310,400円 (春学期 655,200円+秋学期 655,200円)	2,620,800円
計	1,510,400円	1,310,400円	2,820,800円

※1 長期履修制度または早期修了制度を利用した場合の学費額については、経営管理研究科事務局までお問い合わせください。

※2 立命館大学または立命館アジア太平洋大学の学部を卒業した者が本学大学院に入学する場合などは、入学金を徴収いたしません。対象に関する詳細は経営管理研究科ホームページをご確認ください。

奨学金制度

本研究科では、社会人学生を対象とした奨学金制度(立命館大学専門職大学院経営管理研究科奨励奨学金)を設けています。

[奨学金制度概要]

名称	募集対象	金額	給付人数	選考方法・時期
立命館大学専門職大学院 経営管理研究科奨励奨学金	経営管理研究科が実施する社会人入学試験 (一般、企業等推薦型・自己推薦型)の 成績上位者	《給付》 100,000円(学期) ※2年間(4学期)給付	最大40名	入学試験の成績上位者から 採用内定者を選出し、 合格発表時に本人に通知

※「長期履修制度の申請者」、および「国費留学生制度またはこれに類する制度により資金を得て入学を予定している者」は、この奨学金の対象とはなりません。

社会人学生を対象とした修学支援制度^(※1)

- 早期修了(在学期間の短縮)制度

本研究科では専門職大学院設置基準第16条にもとづく、早期修了(在学期間の短縮)制度を設けています。科目等履修生制度を利用して本研究科の科目の単位を2科目(4単位)以上^(※2)修得されている方の場合、本研究科に入学後この制度を利用することにより修了までに必要な在学期間が2年から、1.5年に短縮することが可能になります。また、修了までに必要な授業料も1.5年分になります。

- 長期履修制度

在学中に職業を有することにより、学修・研究時間を十分に取ることが出来ず標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超え、在学年限(4年)の範囲内の期間において計画的に教育課程を履修することを目的とした制度です。長期履修が許可された場合の授業料は、標準修業年限で納入する授業料総額を、長期履修が許可された年限内(在学を予定している年限)で納入していただきます。

※1 各制度の申請資格が異なりますので詳細は経営管理研究科事務局までお問い合わせください。

※2 ただし大学卒業など、学校教育法第102条第1項の規定により専門職大学院の入学資格を有した後に修得したものに限ります。

いずれの制度も許可制(必ず認められるものではありません)。

専門実践教育訓練給付金

[経営管理研究科 経営管理専攻マネジメントプログラム]

観光マネジメント専攻の観光事業マネジメントプログラムは対象講座ではありません。

経営管理研究科経営管理専攻マネジメントプログラムは「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定されています。専門実践教育訓練給付制度とは、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)や離職者が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った授業料等の一部(最大112万円)を、本人に対して給付金として支給する制度です。専門実践教育訓練給付金の受給には、一定の要件を満たす必要があります。詳細については本研究科ホームページを確認の上でお近くのハローワークにお問い合わせください。

履修証明プログラム

大学等における正規の学位プログラムの他に、社会人等の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)により、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。修了までには総時間数として、60時間以上が必要です。

- Agriculture Management Program (AMP)
本研究科では、(株)農林中金アカデミーの寄附講座として農林水産業分野の経営人材育成を通じて地域社会の発展に資することを目的として、「Agriculture Management Program」(AMP)を開設しています。
- 観光マネジメント履修証明プログラム
本研究科では、観光分野の教育の充実に向けて取り組んでいます。その一環として、「観光マネジメント履修証明プログラム」を開設しています。

教育課程連携協議会

専門職大学院設置基準により、教育課程連携協議会を設置しています。人材育成に高い見識をお持ちの各位から、教育課程の編成や実施、授業科目の開発や実施に関して、意見や指摘をいただき、次回の協議会において進捗に対して評価いただいています。

会 長：株式会社安藤佳則事務所 代表取締役社長 安藤 佳則 氏
委 員：一般社団法人日本旅館協会 会長 鶴雅ホールディングス 代表取締役社長 大西 雅之 氏
NISSHA株式会社 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也 氏
学校法人大和学園 理事長 田中 誠二 氏
株式会社ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭 氏
CVCキャピタルパートナーズ日本法人 最高顧問 藤森 義明 氏
公益財団法人日本交通公社 会長 光山 清秀 氏
立命館大学校友会 副会長 森川 典子 氏
立命館大学 副学長 野口 義文 氏

※2023年12月開催時